

CAL
EA947
B71

#54 May 1984

DOCS

特集・トルドー首相の15年

1984年5月
No. 54

ISSN 0389-1852

Dept. of External Affairs
Min. des Affaires extérieures
OTTAWA

MAY 3 1984

RETURN TO DEPARTMENTAL LIBRARY
RETOURNER A LA BIBLIOTHEQUE DU MINISTERE

トピックス——2

トルドー首相の15年——4

カナダの政治制度——8

CANADA IN NEWS——10

初来日のカナダ・バレエ

ジョイ・コガワさんに聞く・猿谷 要——12

カナダ便り/150もある電話会社・栗崎由子——14


カナダ史点描/ブリティッシュ・コロンビアの誕生(上)——15

カナダ人物記⑮ ビル・リード——16

編集後記——16



Bulletin Canada

発行  カナダ大使館



◆◆アジアが欧州を超越す
◆◆昨年のカナダの輸出

昨年カナダの対外輸出は、七・六パーセント増と先進工業諸国の中では最大の伸びを示したことが、国際通貨基金（IMF）の調査で分かった（日本は六・二パーセントの増大、米国は五・五パーセントの減少）。

輸出額、伸び率とも最も大きかったのは米国向け。カナダの昨年の輸出総額八百八十四億二千六百万ドルのうち、対米輸出は六百四十四億八千八百万ドル（七二・九パーセント）を占めた。八二年と比べておよそ一五パーセントの増大である。対米輸出のうち最も大きいのは、米加自動車協定に基づく乗用車やトラック（完成品）の輸出（百三十五億ドル）と林産品

カナダの主要輸出相手地域(1983年)		対前年比(%)
(単位100万ドル)		
米国	64,488	+15
西ヨーロッパ	7,547	-11
英国	2,446	-8
西独	1,156	-6
東ヨーロッパ	2,109	-18
東中東	1,412	-22
アジア	934	-19
日本	8,630	+7
中国	4,734	+4
南米	1,605	+31
太平洋地域	1,318	-12
合計	1,412	-4
	576	-31
	88,426	+8

その他の地域では、英国および西ドイツを中心とする西ヨーロッパ向け輸出が一パーセントも落ちて七十五億四千七百万ドルに減ったのに対し、逆にアジア向けは七パーセント増えて八十六億三千万ドルに達した。カナダの市場として、初めてアジアが西ヨーロッパを追い越したわけである。そのうち、対日輸出は四十七億三千万ドル（四パーセント増）、中国向けが十六億五千万ドル（三・一パーセント増）であった。

東欧、中東、南米および中米向けの輸出は、いずれも減少した。ヨーロッパ市場における経済活動の停滞化と保護主義の台頭、アジア地域における急速な経済成長と今後の可能性を考慮すると、カナダの対外貿易に占めるアジアの比重は、ますます高まっていくものと予想される。

◆◆電話による電子郵便
◆◆テレコム社が開発

テレコム・カナダ社（本社トロント）は、既存の電話回線を使って高速で通信文を送ることができ、世界初の商業用テレテキスト・システムを開発した。これは電話でお互いのワードプロセッサと電動タイプライターを結んだもので、使用料はカナダ国内だと、事務用電話機の場合、市内では無料、トロントからオタワまでは五枚の通信文で七十二セント（約百二十五円）、トロントからバンクーバー間でもわずか一ドル十セント。通信文を電話料金の安い夜間に送るようになれば、送料はさらにその三分の一ですむ。世界最初の電子郵便システムは、すでに西ドイツで稼働しているが、これは専用データ回線を使用しているもので、通常の電話回線を使ったものとしてはテレコム社のシステムが初めて。

◆◆糖尿病の治療に朗報
◆◆実験で大きな効果

世界的なバイオ技術研究所として知られるコンノート研究所（トロント近郊）とウエスタン・オンタリオ大学の大学院で、それぞれ別個に糖尿病の画期的な治療法が発見された。

糖尿病患者のすい臓は、血中の糖分を制御するインシュリンを作ることができない。これまでに、体外からインシュリンを投与することによって、悪化を防いでいる。しかしそれでは、死亡はくい止めても、網膜症や腎障害、心筋梗塞などの合併症を防げない。そこでコンノート研究所で、ブラスチックでくるんだ細胞を糖尿病のねずみに注入してみたところ、インシュリン注射よりはるかに効

果があることが分かった。ブラスチックにくるんだ細胞がインシュリンを分泌する健康なすい臓の役割を果たすだけでなく、血液糖分を正しく調整するのに必要なホルモンを分泌する器官をブラスチックですつぽりおおうため、合併症が起らないという。

この治療法が開発されれば、糖尿病に苦しんでいる何万という人々が注射針と合併症から解放されることになる。

一方、ウエスタン・オンタリオ大学の大学院では、昨年、きわめて重症だと診断された三十人の糖尿病患者に毎日、サイクロスポリンという薬剤を投与したところ、十六人がインシュリン注射が必要でなくなるまでに回復し、あとの十四人についても大半が少量の注射で済むようになった。



コンノート研究所のアンソニー・サン博士(左)は、糖尿病研究の第一人者である。

◆◆二酸化硫黄の排出量を半減
◆◆酸性雨対策でカナダが決定

森林や水産資源、飲料水あるいは建造物などに害を与える酸性雨が世界各地で問題になっているが、カナダでは、連邦政府が各州政府と共同で、酸性雨の原因である空气中に排出される二酸化硫黄の量を、一九九四年までに現在の半分に減らすことになった。

三月にオタワで開かれたカナダと欧州九か国の環境問題担当閣僚会議では、酸性雨被害防止のため、一九九三年までに各国の硫黄酸化物排出量を少なくとも三〇パーセント減らすことを決議していた。カナダの目標は、それをはるかに上回ることになる。

カナダはまた、同国に降る酸性雨の半分は米国中西部の工業地帯が発生源だとして、米国政府にも強く規制を求めていたが、四月初めに両国間でこの問題に関する条約が締結された。

酸性雨問題に本格的に取り組むことになったカナダ政府によると、国内の主な汚染源はニッケルやアルミの精錬所と石油や石炭を使う発電所。これらの精錬所や発電所を中心に二酸化硫黄の排出量を大幅に削減するのがカナダ政府や州政府の意向だが、そのためには排煙脱硫装置の設置や、石油や石炭

に代わるエネルギー源への切り替えなど、最低百億ドルはかかると思われる。

◆日系カナダ人に謝罪を ◆下院特別委員会が勧告

戦時中から戦後にかけて日系カナダ人が受けた扱いなどについて昨年六月以来、全国各地で公聴会を開き、審議を重ねていた連邦下院の「カナダ社会における少数民族参加に関する特別委員会」は、三月末、日系人への謝罪と補償を勧告する報告書を提出した。

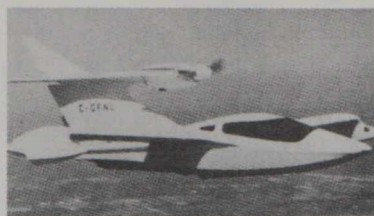
報告書は、「勸告第三十三号」の中で、戦時中の日系人の強制収容は「長い人種的不寛容の伝統に根ざし、それに伝聞と戦前の全国的な狂信的愛国主義が油をそそいだ」結果だと述べ、漁船や土地、住宅などが没収され、のちに市場価格よりはるかに安い価格で売却されたこと、プリティッシュ・コロンビア州に住んでいた日系人二万二千人のうち約二万一千人が強制的に立ち退かされ、内陸部へ送られて悲惨な生活を強いられたこと、日本国籍を持つ人々だけでなく日系のれっきとしたカナダ市民までも日本に「送還」されたことなどを明らかにしている。

報告書は、さらに、今年一月にウイニペグで開かれたカナダ日系人協会全国補償委員会が連邦政府に公式謝罪を求め、補償について政府と交渉する旨の決議を採択したことに触れ、日系カナダ人に対

する「人道的、歴史的過失を正すことは困難だが、政府はそのための努力をすばきである」として、連邦議会に謝罪と補償への交渉を勧告している。

◆自家製の飛行機はいかが？ ◆組立セット一機で四万ドル

カナダには、小型飛行機のセツトを買って、それを一年から場合によっては三年以上もかけて組立て、乗り回す人がかなりいる。こうした自家製飛行機ファンのために、オンタリオ州北部の町ハリバートンにあるシーウインド・インターナショナル社が、グラスファイバー製の四人乗り水陸両用軽飛行機（写真）を開発した。



組立てやすく、しかもスピードがでるということで、構造的にはきわめてほつそりとしており、エンジンには尾翼からつきだしたパイロン（目標塔）にぶら下がっている。

すでに完成したプロトタイプ機は、時速二百七十キロ、上昇速度毎分二百九十メートル、貨物搭載量四百キロ、航続距離一千キロ以上という性能をもっているという。

主な構造部分は、すべて前もって作られており、あとはそれを組み立てるだけだが、それでも一人て一時間はかかる。値段は、部品だけで一万八千ドル、エンジンやプロペラ、計測機器を合わせると約四万ドル（七百万円）。

◆テリドン、熊本県が導入 ◆赤坂の商店街でも利用

通産省のテクノポリス構想に名乗りを上げている熊本県が、県内への企業誘致を積極的に推進するため、カナダの双方向文字図形情報システム「テリドン」を利用することになった。

これは文字と画像を使って県の工場適地、産業、そしてテクノポリス構想を説明しようというもので、県東京事務所と東京・浜松町の東芝ビル内にパーソナル・コンピュータを置いて、企業の担当者などの利用に供している。

また東京・赤坂の一ツ木通り商店街では、五月下旬からテリドンによる店舗紹介サービスを始める。さらに、近畿日本鉄道では、テリドンを利用して駅頭やホテルで各種文字図形情報を提供する、ターミナル情報システム計画を進めている。

利用者は街頭に設置した端末機を操作して、各飲食店の特徴や値段、営業時間、場所などを手軽に知ることができるよう、商店街の各種情報やスポーツ・ニュースなども呼び出せるという。

◆今年がカナダ観光年 ◆全国で三十以上の行事

今年、ジャック・カルチエのカナダ到着四百五十周年を記念する行事など、カナダ全国で三十以上の記念祭が催される。

そこでカナダ旅行業協会では、政府の協力を得て、一九八四年を「カナダ観光年」と定め、これらの行事をこの統一テーマで展開することになった。

カナダ大使館の観光部（トラベル・インフォメーション）でも、カナダ太平洋航空（C.P.）と協力して、一般からカナダ旅行のアイデアを募集するコンテストを実施した。

◆日本カーリング協会が発足 ◆初の全国大会は池田に栄冠

一九八八年にカルガリーで開かれる冬期オリンピックの公開競技になったカーリングの全国組織、日本カーリング協会が、二月二十五日、設立された。会長には森鼻・北海道カーリング協会会長（北海道銀行頭取）が選任された。札幌市の北海道カーリング協会（道銀ビル内）が日本協会の事務局を兼ねる。

日本協会の設立に続いて、真駒内アイスアリーナ（札幌）で第一回日本カーリング選手権大会が開催され、池田カーリング協会のレッドバジヤマ・チームが初の日本

一となった。

◆さけ学習を通じて交流へ ◆北海道とカナダの子供達

北海道とカナダの間で、さけについて学習している学校同士の交流が進められようとしている。

さけ交流の話を持ち込んだのは、カナダさけ保護協会（バンクーバー）のジム・マレー氏ら。昨年二月のことである。昔からさけの産地として有名なプリティッシュ・コロンビア州では、さけ保護運動が盛んで、特にバンクーバー周辺ではバンクーバー・サン紙の全面的な協力を得て、六百近くの小中学校が、さけの生態などに関する学習を取り入れている。

北海道でも、二十数校の小、中、高校がさけ学習を実施しており、北方圏センター、さつぼろサケの会、道教育委員会が「北海道・カナダさけ学習交流推進連絡会議」を設けて交流実現へ計画を進めてきた。カナダ側から交流希望校のリストも届いており、今年からいよいよ手紙、作文、写真、資料の交換、生徒の相互訪問などが始まる。

訂正 カナダ大使館発行の背景説明レポートNo.36「カナダの公共企業体」で、財務運営法（Financial Management Act）となっているのは、財政管理法（Financial Administration Act）の間違ひですので訂正します。



カナダ統一に情熱

トルドー首相の十五年

一九六八年以来、十五年余にわたって政権を担当してきたトルドー首相が、辞意を表明した。胸にバラの花をさし、ときにはオートバイを乗り回したり、飛行場でエリザベス女王を見送ったあととくりと回っておどけて見せたりしたトルドー首相。世界に先駆けて中国と国交を樹立し、最近では東西対話と核戦争回避のために世界中を飛び回っていたトルドー首相。そして国内では、国家統一のために最大の努力を傾け、憲法のカナダ移管を達成したトルドー首相。トルドー施政の十五年を振り返ってみた。

カナダ建国の父ジョン・A・マクドナルドを除いて、おそらくピエール・トルドーほど、カナダとその国民に影響を及ぼした人物はいないだろう。およそ二十年にわたる政治生活において、トルドーは十五年間も首相の座を占め、その個人的かつ強力なリーダーシップによって、国内だけでなく国際的にも大きな存在感を与えてきた。

関心において常に傑出していた」

カナダの統一と世界平和——この二つがトルドー首相の最大の関心事であり、また同首相が最も努力をそそいだ問題であることは、疑いがない。その具体的な表れが、二言語政策であり、憲法の移管および人権憲章の制定であり、また南北間対話の推進や核保有国会議の開催などを含む東西間の緊張緩和への一連の努力であった。

大学教授から政治家へ

トルドー氏の政治歴は、一九六五年に始まる。



その年、ケベック州から三人の連邦下院議員が誕生した。三人とも若い頃からの友人同士であった。労働組合活動家のジャン・マルシャン、高名なジャーナリストのジェラール・ペレチエ、それに全国的には無名に近いトルドーである。

トルドーはモントリオール大学の法学部を卒業したあと、諸外国で学び、また広く世界各地を旅した俊英であった。枢密院事務局で経済顧問を、母校モントリオール大学で憲法の教授をつとめたこともあった。五〇年代から六〇年代にかけてのトルドーは、政治哲学や社会正義、国家統一といった問題に、深い関心を寄せていた。それに先

立つ一九四九年には、ケベックで起こった有名な「アスベスト・ストライキ」で、労働者側を応援した。(このストは、弾圧と反発の激しさだけでなく、これまで社会問題に無関心だったケベックの若いインテリを引っぱり出

し、のちの社会改革の誘因となったという点でも、画期的事件だった。)

三人は、その翌年、評論誌『シテ・リブレ』を創刊し、ケベックの強圧的なドゥプレシー政権への批判を展開する。これらの評論活動は、「静かな革命」と呼ばれたケベックのさまざまな社会改革に大きな影響を与えたといわれる。

下院議員に当選したトルドーは、まもなくレスター・ピアソン首相の政務担当補佐官に任ぜられる。一九六七年に法務大臣になったトルドーは、早速友人に電話し、省内の裏表を知るためにこれから一日二十四時間働くつもりだ、と熱っぽく語ったという。

事実、トルドーの活動は目覚ましく、在任中に離婚法を根本的に改めたほか、

刑法を改正して妊娠中絶や同性愛、宝くじ、酒気探知器を合法化するという、当事としてはきわめて大胆な措置をとった。その頃のトルドーは、「国家は国民の寝室には一切踏み込まない」という有名なコメントを残している。

これらの措置により、若々しくて独身、金持ちで独創的、知的で胸にいつも一輪のバラをさし、サンダルをはいて議事堂に入るこの型破りの法務大臣は、全国的に名前が知れわたる。六七年十二月にピアソン首相が辞任を表明したとき、人気

度からいってトルドー氏の右に出る者はいなかった。

トルドー氏は翌年四月の党大会で党首に選ばれ、四日後、ピアソン首相の辞任を受けて二十代目の首相に就任した。そしてその三日後、議会を解散し、六月に総選挙を実施することになった。

英仏両語を公用語に

選挙は全国的なトルドー旋風（トルドーマニア）に乗った自由党が、下院二百六十四議席のうち百五十五議席を制して、地すべりの勝利をおさめた。トルドー首相の登場は、国民に新しい時代の開幕を印象づけた。

政権についたトルドー首相は、若い頃からの懸案をひとつ実行した。二言語政策である。トルドーの伝記を書いたりリチャード・グインが言うように、トルドーにとつて二言語政策は初代首相マクドナルドにとつての大陸横断鉄道のようなものであった。つまり国家統一の道具である。

国家統一のためには、フランス系カナダ人が国内どこにいてもくつろげるようにしなければならない。

一九六九年に制定された公用語法によって、連邦政府機関における業務が英仏両語で行なわれるようになり、またフランス語を話す連邦政府公務員の数も、フランス系住民の割合（全体の二七パーセント）に応じて増員された。

トルドーは、フランス系住民が自らの

言葉を話す権利を、言語や信教の自由と並ぶ人権だと考えた。トルドーの政治哲学は、公正と自由、秩序が三本柱になっている。無政府状態の存するところには自由はない、というのが彼の信念である。

一九七〇年十月、ケベック解放戦線（FLQ）が英国の外交官ジェームズ・クロスを誘拐し、州政府の閣僚ピエール・ラポートを殺害したとき、トルドーが平和時としては初めて戦時措置法を発動し、軍隊を動員するという強行手段に訴えたのは、そのためであった。

一九七二年十月、トルドーは二度目の選挙を実施する。しかしその時は、失業や経済問題のせいで、自由党は百九議席と過半数を割ってしまった。その後の十八か月は、新民主党と手を組んで政権を維持せざるを得なくなった。

その間、トルドー政府は、問題になっていた失業保険制度の運用を厳格にし、インフレ鎮圧のため食料価格審議委員会を設置し、あるいは家族手当や老齢年金を引き上げ、プライバシー保護法を制定し、また石油公社ベトロ・カナダを設立したりしている。

新民主党が進歩保守党と組んで、予算案を否決したため、七四年七月に三度目の選挙が行なわれることになった。

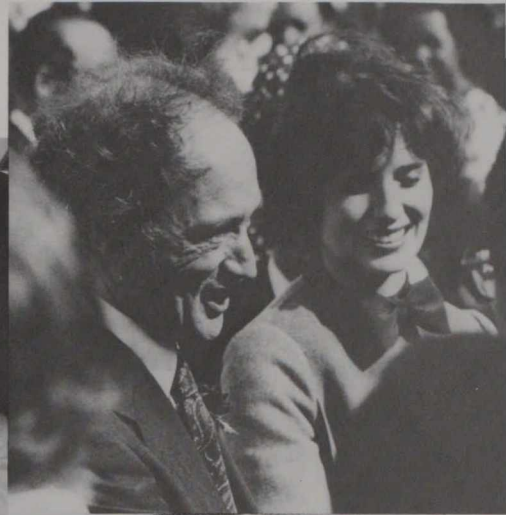
しかし今度は国民が、インフレ対策を中心とするトルドー政権の経済政策を支持し、結果は自由党の圧勝に終わった。

ところがインフレはその後も高率で続き、失業者も増える一方。とうとうトルドーは、選挙戦で反対した賃金物価抑制

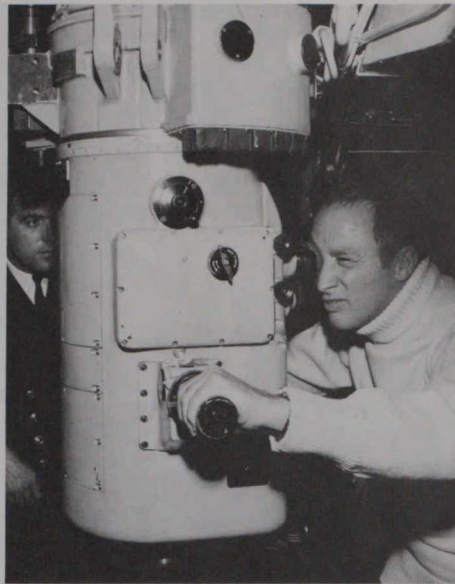
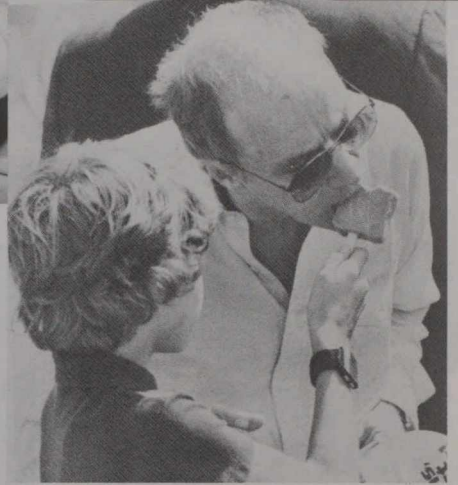


憲法移管が実現して自由党議員の祝福を受けるトルドー首相。





マーガレット夫人とは今年4月、正式に離婚した。



策を導入せざるを得なくなった。

やがて閣僚の不始末や六週間に及ぶ郵便スト、フランス語使用をめぐる航空管制官のストが相次ぎ、トルドー首相の人氣はまた落ちた。

憲法のカナダ移管

トルドーを救ったのは、ケベック州におけるケベック党の勝利である。ケベック党のレベック党首は、カナダからの分離主義者として知られていた。トルドー

は、ケベック党の勝利はカナダ連邦統一への脅威であると考え、州民投票を呼びかけたケベック州政府のキャンペーンに、猛烈な反対運動を展開した。しかし賃金物価抑制策が漸次廃止されるとともに、インフ

レや失業率が再び悪化し、七九年五月、トルドーは四度目の選挙に追い込まれる。トルドーは国家統一を前面に出して戦ったが、選挙の結果は、新しく増員された下院の議席総数二百八十二のうち、若い党首ジョー・クラークの率いる進歩保守党の百三十六に対し、自由党は百十四しか得られず、敗退した。

十一月になって、トルドーは突然辞任を表明し、翌年三月に新党首を選ぶ党大会を開くよう要請する。

ところがクラーク政権が、増税やガソリンの値上げを含む悪評さくさくの予算を組み、自由党と新民主党が組んで不信任投票を通過させたことから、事態は急転。八〇年二月に選挙が実施されることになり、トルドーは辞意を撤回して起死回生を図ることになった。

選挙は過半数を獲得した自由党の勝利となった。トルドーは復活したのである。新生トルドー政権の大きな課題は、ケベックの分離を防ぐことであった。

結局レベック州首相は、目標を分離・

独立そのものから主権・連合に格下げし、五月二十日、これに関して州政府に連邦政府との交渉権を与えるか否かについて州民投票を実施したが、州民の同意を得られなかった。カナダの再生を約束したトルドーに、凱歌があがったのである。

次の課題は、憲法を英国からカナダへ移管するとともに、改正方法の条項を加え、自由と権利の憲章を定めることである。

憲法問題は、法務大臣時代からのトルドーの懸案で、首相になってからも何度も解決を試みたがどうしても果たせなかった難問であった。

今度も各州の思惑がからんで、難航したが、とうとうケベックを除くすべての州の首相の同意を取りつけることに成功。連邦議会も承認して、八二年四月、改正条項と権利の憲章を明文化した憲法が、あらゆる意味でカナダのものとなった。カナダの植民地時代の最後の名残りが、断ち切られたのである。

独自の外交路線

トルドーは、外交でも独特のリーダーシップを発揮した。

一九四七年、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスでの勉学を終えたトルドーは、十五か月にわたって世界を回り歩いた。ビザ所持のためユーゴスラビアから退去させられ、パレスチナでスバイの疑いを受けて逮捕され、また中国で内乱の戦火に巻き込まれそうになったり——という体験をしたトルドーは、首相としても国際問題に強い関心を示し、独自の外交を展開した。

例えば、一九六九年にはNATOのカナダ軍を半減する措置を講じ、七〇年には、西側主要国としてはフランスに次いで二番目に中国を承認して、台湾と国交を断絶した。フランス語圏アフリカへの

援助や外交団も大幅に増やされた。

また七二年には、対米依存の比重を減らして、日本や欧州など他の地域との関係を推進するという「第三の選択」政策が導入された。この政策とトルドー自身の魅力により、カナダは米国とはつきり一線を画して見られるようになり、またトロント大学のジョン・カートン教授によると、七〇年代半ばには「中級国家」だったカナダが今や主要国家と見なされるようになったという。

対米関係では、両国間のさまざまな懸案に対処するほか、カナダ経済に及ぼす米国の影響を減らす措置をとるなど、米国と協力しつつも利益優先の自主路線を歩んだ。外国投資審査庁の設立や国家エネルギー政策など、米国を怒らせた措置もあったが、国内および国際景気の変化により、これらはもはや摩擦の原因ではなくなった。

トルドーは開発途上諸国や第三世界にも大きな関心を寄せ、対外援助を大幅に増やしたほか、いわゆる南北問題の解決に努力した。

重視した対日関係

日加関係は、両国首脳間の政治的決定に触発されて、一九七〇年代を通じて深まり、成熟した。特に一九七四年のトルドー・田中会談を契機として、文化、政治、科学技術などの分野で定期的な協議が行なわれるよう

になったほか、学术交流が盛んになり、また合同経済委員会および日加経済人会議が設立された。一九八〇年には、トルドー・大平会談で、外務大臣同士の定期協議が合意されている。両国には、それぞれ、日加関係の緊密化を推進しようという超党派の国会議員のグループもある。トルドー首相は、個人的にも大の日本びいきで、これまで何度も来日している。



かつては柔道の手ほどきを受け（息子さんたちも柔道を習っている）、京都では禅を組んだこともある。日本料理が好きで来日するたびにすしや天ぷらに舌つづみを打っている。昨年は、公務のあいまに息子さんと箱根へでかけ、和風旅館でくつろいだ一夜を過ごした。また一九七六年には、慶応大学から名誉法学博士号を授けられている。

ヨーロッパとの関係では、欧州共同体と経済協力大綱を締結して「契約的連結」をなし、またアフリカ、ラテンアメリカ、環太平洋の国々との関係強化に腐心した。トルドー首相が二、三か月、最も力を入れたのが、東西間の緊張緩和を求め一連の平和外交である。トルドー首相は米ソをはじめ、中曽根総理を含む主要諸国の首脳と会談して、核戦争の恐怖と東西対話の再開を強く訴えた。核戦争の回避の中で続けられるトルドー氏の平和への努力は、今後いろいろな形で実を結ぶものと期待される。



日本記者クラブで会見するトルドー首相（一九七六年）。



首相在任十五年というトルドー時代は、まもなく終わる。その正しい評価は後世にゆだねるほかないが、トルドーがその間カナダにとってきわめて大きな存在であったことは間違いない。

新首相が選ばれるまで

トルドー首相の辞意表明にともない、誰が次期首相になるかが焦点になってきた。

カナダでは、過半数の議席を有する政党が政権を担当することになっているが、自由党はすでに下院二百八十二議席のうち百四十六席を制しており、新しい党首が選ばれば、自動的に首相に就任することになる。

自由党は、六月十四日から十七日まで、オタワで党大会を開くことになっており、新党首はその場で各選挙区代表、連邦および州議員、党役員からなる代議員によって選ばれる。新党首はただちに党首の座につき、首相に就任するのは現職が正式に辞任してから。

新党首（首相）は、憲法上、必ずしも現職議員でなくてもいい。新首相は、かつてマッケンジー・キング首相が二度もやったように、議場に代理をたて、本人は議席をもたないまま傍聴席から指揮をとることもできる。もちろん内閣を組織し、総選挙を実施することも可能。しかし、できるだけ早い機会に、補欠選挙（通常、当選が確実視される選挙区で、同じ党の議員が自主的に辞任することによって行なわれる）を通じて議席を獲得するのが慣例である。

総選挙の時期は新首相が決定するが、ローマ法王の訪加が九月中旬に予定されていることもあって、秋以降になるものと思われる。



躍動美と気品が魅力 初来日のカナダ・バレエ

舞台中央の揺り椅子に白髪の老人。背後に数十人の若者たち。若者の問いかけに老人が答え、老人の動作に若者が応じる。

六月十四日、東京五反田の簡易保険ホールで幕開けする、カナダ・グラン・バレエ日本初公演の人気創作バレエ「タム・ティ・ドラム」だ。「タム・ティ・ドラム」は、ケベックの民俗芸能を素材にした、エスプリとユーモアあふれるフォーク・バレエの傑作。同バレエ団の創設者リュドミラ・シリアエフの、その土地に生きる文化の継承と創造を」という方針で生まれた作品である。

カナダ三大バレエ団のひとつカナダ・グラン・バレエは、一般には前衛的な作風で（例えば上の写真「ダブル・カルテット」）知られている。だが創設者のシリアエフは、もともとロシア生まれでヨーロッパ育ち。ロシア人の天才振付師ミハイル・フォーチンの教えを受け、ベルリンやスイスで活躍したバレリーナ兼振付師。いわば本場ヨーロッパ・バレエの伝統の中で育った人である。

今回の日本公演のだし物「ロミオとジュリエット」、「セレナーデ」などは、この古典バレエの伝統が開いた美しく

気品ある舞台だ。

グラン・バレエは一九五八年の創立以来、保守的風習の強かったケベック州で、人々の自己解放の歩みと一緒に大きくなってきた。シリアエフが一九五〇年代初めにバレエ学校を開いた頃は、子持の女が公衆の面前で脚を上げるとは何事かと非難されたという。しかし彼女の自由に躍動するバレエ・スタイルは、草創期のテレビ電波にのって、ケベック人の感性を深く動かしていった。一九七〇年に、イギリスのロック・グループ「ザ・フー」のロック・オペラ「トミー」を公演して大成功を取めたのも、一昔前のケベックなら考えられもしなかったことだろう。

「トミー」の振付けをしたのは、モダンバレエ出身のフェルナン・ノー。同じ座付き振付師のブライアン・マクドナルドとともに、今回来日する。二人ともグラン・バレエの風格を作ってきたすぐれた振付師だ。

そのほかグラン・バレエには、マキエーズ（モダンダンスと現代バレエの溝を埋めた成功作といわれる「海の見える風景」の振付け）やクテルカなど、多彩なレパートリーを提供している。

公演日程は六月十四〜十七日東京、二十〜二十一日北海道、二十五〜二十六日大阪、二十七日神戸、二十九日京都、七月一日福岡、二日小倉、四日名古屋、六日神奈川、七日福島、八日群馬、九日大宮。問い合わせは民音予約センター（〇三―三六三―九一五一）まで。

猿谷 日本に來られたのは初めてですか。

コガワ いいえ、二回目です。最初に來たのは十五年前です。そのときは約一か月ほど滞在し、帰ってからたくさん詩を書きました。これがそのときの詩をまとめた本(Choice of Dreams)です。もう絶版になってしまいましたが、第一章は日本に関するものです。

猿谷 今度はどういう目的でいらしたのですか。ルーツをたずねるとか、という目的があったのでしょうか。

コガワ とりたてて何の目的で、ということはないです。前もって滞在中の予定を立てるということもありませんでした。作家としてわたしは夢とか意識の世界を扱うので、場所はあまり重要ではないです。わたしのいる場所は、家の中でも、バスでも、どこでもいいです。人生というのは一個の教師ですから、何をしようとするものが何がある、と思います。事実、来日してまだ何日もたっていないんですが、多くのことを学びましたし、いまも学びつつあります。

猿谷 ところで、このObasanは詩のようで、イマジネーションがどこまでも広がっていく、という大変すばらしい本ですが、どういうきっかけで書きになったのですか。

コガワ 一九七七年にJericho Roadという詩集を出版したのですが、わたしはそれにちよつと不満でした。しかし次に何を書いたらいいのか、迷っていました。そのうち、ある日、アルバータ州コ

デーにある両親の家で寝ていたところ、オタワの公文書館へ行って、何か仕事をやれ——という夢を見たのです。わたしは夢のお告げに従うほうではないのですが、そのときはとにかくオタワに行ってみました。

その前に、わたしはある雑誌に記事を送ってあったのですが、その記事につける写真が必要だということで、公文書館へでかけました。そしてそこで誰かがミューリエル・キタガワの手紙を見せてくれたのです。それを読んだとたん、わたしはこれは小説にしなければならぬ、という衝動に駆られました。キタガワは、日系人としては珍らしく情熱的かつ強い女性で、手紙はバンクーバーに住んでいた弟宛てに書いたものでした。わたしは、その前にObasanという題の短編を書いてあったのですが、ミューリエルをエミリオおばさんにし、手紙を彼女が日本に帰った姉(ナオミの母)宛てに書き記した日記という設定にして、ふくらませました。

そのころのわたしは、たまたま日系人だというだけで、むしろそれとは関係なくただ一個の人間だと自らを考えていたわけですが、ミューリエルは日系カナダ人としての意識をもち、日系カナダ人としての強いアイデンティティをもっていました。社会的、政治的意識も強くもっていました。わたしにはそういうものはありませんでした。わたしは小説の中のナオミのような存在だったのです。それで個人的には、ミューリエルに強

く反発し、抵抗しました。しかし、二十四時間開いている公文書館で夜中、廊下を行ったり来たりしていると、ミューリエルがこれを書け、あれを書けとせつづくわけですね。彼女がかつて日系紙で、日系人の問題について一生懸命頑張ったときの情熱が、わたしにも伝わってくるのですね。

わたし自身は、もともと明治生まれの母に育てられた従順な女の子で、どちらかといえば小説の中のアヤおばさんに近かったのですが、Obasanを書いているうちにだんだんわたしの中にミューリエルの部分が大きくなったのです。かつてのわたしは非常にシャイで、人前ではろくに話もできませんでした。集会でも、隅っこに座って、ただ他人の意見を聞いているだけ。頭の中にいろいろな考えがあっても、それを口にできませんでした。しかし今では、自分のアイデンティティを裏切って白人になろうとした自分がよく見えるようになり、日系カナダ人としていろいろ発言するようになりました。

Obasanを書くことによって、わたし自身が大きく変わりました。

猿谷 本の評判はとも良かったようですね。

コガワ ええ。わたし自身もびっくりするほど。賞もたくさんいただきましたし、書評もカナダだけでなく米国でも非常に好意的でした。カナダではベストセラーにもなりました。

Obasanは、カナダのいろいろな大学や高校あるいはサークルで、教材としても

使われているんですよ。講演などにもよく招かれますし、おかげでとても忙しくなりました。

猿谷 教材としては、どういう使われ方をするのでですか。

コガワ カナダ文学や英文学のテキストとして使われるのが多いのですが、レトリック・アンソロジーや歴史、社会学、女性学などの講座でも使用されているようです。

猿谷 なぜそんなに評判になったのでしょうか。

コガワ さあ、なぜでしょうね。わたしにもよく分かりませんが、ただ多くの人が、こんなことがあったなんて知らなかったと、ショックを受けたようです。歴史の本にも書いてありませんし。

猿谷 日系カナダ人をテーマにした小説は初めてですか。

コガワ 詩では書きましたし、先ほどお話したようにObasanという短編もあります。またにも扱ったのはこれが初めてです。わたしがものを書き始めたころ、日系人について書くなんて、思いもよみませんでした。まず売れる見込みがなかったのです。わたしに書けるとも思いませんでした。白人以外を扱った本を読んだことさえなかったのですから。わたしの最初の小説はAre There Any Shoes in Heaven?というのですが、これはパーキンスという白人家族の話なのです。この小説が掲載された雑誌の挿絵でみると、ノルウェー人の顔つきをして、髪はアロンドに描かれていました。

この家族は最初ブリティッシュ・コロニア州の内陸部に住んでいて、あとでアルバータ州南部に引越すのですが、小さな子が寂しくなって元のところに帰りたいがります。これは実は日系カナダ人の物語なのですが、売るために、日系人の話を白人の物語に変えていたのです。

猿谷 話は変わりますが、今度、連邦議会の特別委員会が、議会に日系カナダ人への謝罪を勧告する報告書を提出しましたね。コガワさんは、政府が謝罪するとお考えですか。

コガワ そう思いますね。カナダ人の中には、カナダが白人だけの国ではなく、多民族国家であること、あるいは日系人が戦時中どういう扱いを受けたかということなど、知らない人がたくさんいます。しかし、公的には(日系人に対する扱いは)間違っていた、ということをとんとどの人が認めていますので、少なくとも謝罪はあると思います。理解が広まれば、補償もなされるでしょう。

猿谷 この問題についての日系カナダ人の動きはいかがですか。

コガワ 実際に活動しているのは非常に少ないですね。一般に、二世はできればあの惨めな時代について考えたくもない。一部の人たちが運動にかかわっているのですが、個人的な欲望や政治的な思惑があって、いろいろごたごたしているというのが現状です。子供のころ、びくびくしながら育ったということもあって、多くの二世はあまりことを荒立てたくな

い。そういう状況の中で一番悲しい思いをしているのが一世なんです。一世の生存者はだんだん少なくなってきましたし、二世のこうしごたごたが、かつての自分たちの体験の思い出と重なって、非常につらい思いをしているわけです。

二世の人たちは、もつとそういう一世の気持ちを感じて上げてはくは。

猿谷 三世はいかがですか。三世の中には、日本人の祖先を持っていることを忘れてる人もいます。ありませんか。

コガワ 忘れてる人もいますし、またそれを大事に思っている人もいます。多くの三世は宗教的、文化的つながりがないので、自分たちのルーツ、自分たちの情熱のはけ口を探し求めています。カナダに入ってくる米国文化や、カナダにある英国文化には、あまり情熱は湧きません。カナダ自体にも、神話的なものはあまりありません。そこで人々は、自分が一体化できる何かを探し求めています。一部の三世は、外見も(白人と)違い、また扱われ方も違うため、自分たちのルーツにとっても興味をもっています。

また白人と結婚する三世が増えていますが、白人といわば同等の地位を獲得したことによって、これまでの劣等意識から解放された、改めて自分たちのルーツに関心をもつということもあります。

(ジョイ・コガワ詩人。愛媛県出身の父と石川県出身の母の間に、一九三五年、バンクーバーで生まれ、学校教師やトルドー首相のスピーチライター、オタワ大学の客員作家などの経歴をもっている。)



「失われた祖國」

Obasan

の著者ジョイ・コガワさんに聞く

東京女子大学教授 猿谷 要

「カナダの読者には
ショックだったようですね」

カナダ便り

百五十もある電話会社

栗崎 由子

カナダの電話システムは、日本やアメリカと並んで、雑音や故障が少ないなど非常に質の高いことが自慢です。

毎日の暮らしの中でも、電話はとても便利です。大学やまちの図書館では、いつでも、気軽に電話での本探しに応じてくれますし、連邦政府や市の担当者も、電話で一般市民の調べものに気軽に応じてくれます。

この国の人々には、「電話では失礼にあたる」という考え方は無いようです。

人口に対する電話機の数も多く（一九八二年における人口百人当たりの電話機数はカナダ六十五・七台に対し日

本は四十六台）、一軒の家にはたいてい二台か三台、電話があります。

ところでカナダには大小合わせて百五十にもほる電話会社があつて、それぞれが大なり小なりの地域で独占的に地方電話網を運営しているのです。

そのうえ、それらの会社は私企業、州営企業、また市営企業と、その持ち主は様々です。

例えばベル・カナダ社。これは収入も、サービス地域の広さも、カナダで

一番大きな電話会社です。カナダの電話会社全体の収入の五〇パーセント強はベル・カナダ一社であげていますし、そのカバーするエリアもオンタリオ、ケベック両州のほとんど全域にわたっています。この会社は私企業です。

二番めに大きなアリティッシュ・コロンビア電話会社（BCテル）も私企業で、収入面では電話市場の約一三パーセントを占めています。ところがエドモントン電話会社はエドモントン市（アルバータ州）の市営企業で、サービス提供地域もベル・カナダ社やBCテル社に比べてずっと小さければ、収入も小さい、カナダ全体の電話会社の

収入の二パーセント以下という、まことに「かわいらしい」電話会社です。しかも興味深いことに、アルバータ州の他の地域は、みなアルバータ政府電話会社の地方電話網に組み込まれているのです。

電話会社が地域ごとにこんなにバラバラでも、長距離電話は、いつでも、どこにでもかけられます。カナダには長距離専門の電話会社はありませんが、その代わりに、各地域の電気通信網は互いにつながっています。そして電話会社同士が、長距離通話からの収入の分配方法について協定を結んでいるおかげで、カナダの人々は二つ以上の電話会社にまたがって電話をかけることができるのです。

電話会社は各地域での独占企業ですから、電話料金の設定等について、電話利用者の利益を守るために、公的機関の規制をうけます。この機関も地域によつてまちまちです。ベル・カナダ社やBCテル社は連邦政府（Canada Radio-Television and Telecommunications Commission, CRTC）、またエドモントン電話会社とアルバータ政府電話会社は、それぞれエドモントン市、アルバータ州政府が監督する、という具合です。

ところが、複数の電話会社を経由する長距離通話の料金、サービスには、公的機関の規制はありません。果たしてそれで長距離通信を利用する人々に対

して公正な料金、サービスが確保されるのか、という疑問が残ります。この問題には今、カナダ国内で少しずつ関心が高まりつつあります。

また現在、電気通信サービスの規制がまちまちなために、地域的不公正が生じています。例えば、ある州では電気通信網にA、B、Cという端末機が使えるのに、隣の州ではAとBだけが許可されていて、Cは使えない——ということが現実起きています。

安い長距離通信網の利用についても同様です。CRTCの管轄しているオンタリオ、ケベック、BC州の人々は、一般の電話会社の長距離通信網だけでなく、CNCPテレコミュニケーションズ社と契約して、その安価な長距離通信サービスを利用することもできます。ところが、他の州ではそれができません。というのも、他の地域では、CNCPテレコミュニケーションズ社のような、地域独占を認められた電話会社以外の会社が電気通信サービスを提供することは禁止されているのです。

各州がそれぞれの事情に応じた独自の政策を打ち立てることは、とても大切である一方、電気通信政策に限り、時代は、いつそこの国家的統一が必要な「情報化時代」に移行していきます。その過程でカナダがどういう道を選ぶのか、私はこれからも見守りたいと考えています。

（トロント大学大学院在学中）

一八五八年の春先のある日、サンフランシスコ港に一隻の大型船が入ってきた。ハドソン湾会社の「オッター号」である。船には、ハドソン湾会社が北方の猟師や鉱山師から集めた金八百オンス（およそ二十五キログラム）が積まれていた。

話はパツと町中に広がった。フレージャー川に行けば、金とれる——。その夜のうちに、たくさん男たちが、ニュー・カレドニア（現在のブリティッシュ・コロンビア）の小さな港町（人口二百人あまり）だったビクトリアをめざして出かけていった。それぞれツルハシと選鉱用のナベをもって。

ブリティッシュ・コロンビアの誕生(上)

ゴールドラッシュに三万人

ビクトリアへやって来た人々の数は、夏までに三万近くに達した。

そして彼らは、休む間もなく、蒸気船で、あるいはカナヌーやイカダで、フレージャー川を上っていった。

フレージャー川の砂洲では、選鉱ナベで土砂を洗う姿が方々で見られるようになった。あちこちで砂金が採れた。鉱脈もいくつか発見された。それとともに、人々が移動し、町ができていった。ウイリアムズ・クリークで鉱脈が発見されたときは、米国だけでなく、東部カナダ、オーストラリア、英国などからも、一獲千金を夢見る何千という人々が、フレージャー川流域に押し寄せた。

それとしてついに一八六〇年、ビリー・パーカーという元船員が、カリブー川の岸辺で大きな鉱脈にぶつかった。まもなく、鉱山師のジョン・キャメロンも、同じカリブー川で有望な金脈を発見した。大量の金が、やはりあったのだ——。

大鉱脈が見つかったウイリアムズ・クリーク一帯には、一夜にして何千もの人々が押しかけ、またたくまにパー

カービル、キャメロンタウン、リッチフィールドといった名前の町が、谷間に出現した。

こうした人口の流入——特に米国からの流入——は、当時カナダを領有していた英国の不安をかきたてた。すでに英国領北アメリカ（カナダ）と米国の西部から太平洋沿岸にいたる国境線は、北緯四十九度線と定められていたものの、英国の統治は、実際にはニュー・カレドニア一帯までは及んでいなかったのである。

もともとインディアンが住んでいた一帯がヨーロッパで知られるようになったのは、キャプテン・クックが今日のバンクーバー島の入江で船を修理した一七七八年以降のことである。クックはそこで自分のもっていた品物をインディアン人のラッコの毛皮と交換する。その毛皮は、中国で高値で売れた。

それが評判になって、まもなく米国をはじめ、世界各国から交易船が毛皮を求めてカナダの太平洋沿岸にやってくるようになった。

一七九三年には、モントリオールを本拠とする毛皮会社ノースウエスト・カンパニーに雇われたアレキサンダー・マッケンジーが、ロッキー山脈を越えて白人としては初めてカナダの太平洋沿岸に達し、同じ頃に英国政府が派遣したジョージ・バンクーバー海軍大佐は、太平洋沿岸をくまなく調査して詳しい地図を書いている。



その後、ノースウエスト・カンパニーは、ロッキー山脈以西にも交易

所や砦を築いて、地域のインディアンと毛皮の取り引きを始めた。そして一八二一年、ノースウエスト・カンパニーがハドソン湾会社と合併すると、ハドソン湾会社のシンプソン総裁は、自ら太平洋沿岸を訪れて、カリフォルニア（スペイン領）からアラスカ（ロシア領）にいたるロッキー山脈以西の広大な一帯の毛皮貿易を独占しようと、砦や交易所を増設する。

一八四九年、英国はそれまでハドソン湾会社の支配にまかせていたバンクーバー島を王領植民地と定め、総督を派遣する。しかし、事実上の支配者であったハドソン湾会社は植民地よりも毛皮貿易を重視し、七年後の一八五六年になっても、植民者は四百人に満たなかった。そのほかには、ハドソン湾会社に雇われていたおよそ三百人がいただけであった。

このような、ほとんど無人に近い所に多数のアメリカ人がなだれ込んで来たのだから、英国が不安を抱いたのは、無理からぬことであった。

(Y)

カナダ人物記⑮

インディアン芸術を再興した
ハイダ族の彫刻家

ビル・リード

ブリティッシュ・コロンビア州のク
イーン・シャーロット島に住むハイダ
族インディアン神話によると、人間
は、はまぐりから生まれた。はまぐり
の体内で幸せに眠っていたのを、狡猾
なワタリガラスの甘言につられて
この世にのこのこ出てきてしまっ
た、というのである。

ブリティッシュ・コロンビア大
学民族学博物館の正面ホールには、
金色の巨大なカラスが、これまた
巨大な貝の上に乗って、小さな
人間が貝の中からはい出ようとす
るこの歴史的瞬間を見守っている
木彫り彫刻が、でんとおかれてい
る。北西岸インディアン芸術のル
ネサンスを不動のものにした作品「ワ
タリガラスと人間誕生」を制作したの
が、ハイダ族の血をひく彫刻家ビル・
リードである。

クマやワシやカラスなどをデザイン
したトーテムポールや飾り板は、今か
ら三十年前には、クイーン・シャーロ
ット島の岸辺に苔むし忘れられてい
るか、あるいは博物館の奥深くひっそり
と置かれている存在にすぎなかった。
北アメリカ北西岸インディアン芸術

が世界的に知られるようになったのは、
リードの力によるところが大きい。

一九二〇年、十五歳のリードは、学
校を中退してバンクーバーでCBC(カ
ナダ放送協会)のアナウンサーになっ
た。それから以後の十七年間、彼のい
わゆる「ラジオ局のルンペン」時代が
続く。各地のラジオ局を渡り歩き、時
には航空会社で働いたりする。そして
その間リードは、こつこつと装身具や
小箱など、小物の彫刻を作り続けた。

Bill McLennan (ブリティッシュ・コロンビア大学民族学博物館) 撮影



リードと作品「ワタリガラスと人間誕生」

トやアルトン、文化人類学者のレビ
ストロースらが賞賛し、ニューヨーク
で展覧会が開かれ、カナダの美術館や
博物館も収集や保存に熱を入れるよう
になる。クワキウートル族出身の彫刻
家マンゴ・マーティンにブリティッシ
ユ・コロンビア大学(UBC)からト
ーテムポール制作の依頼がくる。UB
Cは、リードにも、構内にハイダ族古
来の住居やトーテムポールを再現する
ことを依頼してきた。

一九五九年、リードは
ついに「放送局ルンペン」
から足を洗い、ハイダ彫
刻に専念することにした。
その後のリードの活躍
は目覚ましい。制作面
ではUBCにハイダ部落家
屋やトーテムポールを
そっくり再現し、ビクト
リアの州立美術館に壁画
を彫り、インディアン・
モチーフを使った装身具
なども数多く作っている。

制作だけではない。散逸したインデ
イアン・アートの調査やインディアン
・アート・スクール開設といった伝統
文化の保存・継承活動も精力的に行な
い、新聞雑誌やラジオの原稿を書いた。
リードはこの後、パーキンソン病に
悩まされながらも、新たに版画とシル
クスクリーンの分野に挑戦し、相変ら
ず盛んな創作意欲を見せている。

編集後記

●トルドー首相は、二月二十八日の晩、
吹雪が荒れる首都オタワの街を歩いて
いました。「私は自分の気持ちに耳を
傾け、私の運命を示すしははないか
と空を見上げたが、あるのはただ降っ
てくる雪だけだった」と、あとで冗談
まじりに語っています。翌朝、少し柔
道をやりに、ファイブがでてきた首相は、
二、三人の友人に相談したあと、一枚の
短い手紙を書きます。それが党総裁に
宛てた辞意表明でした。

●ときに政治の都オタワは休暇中。主
だった閣僚、野党党首をはじめ、ほと
んどの議員が選挙区や旅行にでかけて
いる間のできごとでした。

●長年にわたり、カナダの「顔」とし
て活躍してきたトルドー首相が辞任し
たあとのカナダは、どう変わるでしょ
うか。

●日系作家コガワさんは、小柄で気持
ちのやさしい人でした。一時間以上に
わたる対談でしたが、スペースの都合
でカットせざるを得なかったのは残念
です。(吉田)

本紙中の意見や見解は、必ずしもカ
ナダ政府またはカナダ大使館の考え方
を反映するものではありません。また
公式文書の翻訳は仮訳です。転載の際
は、できるだけ出典を明らかにして下
さい。ご意見やご希望は左記の住所に
ご連絡下さい。

〒107 東京都港区赤坂七丁目三三-八

カナダ大使館広報部